

【施策評価調査】

施策名	3-4-4	交通安全組織の育成と強化		施策目的	本町内の交通量の飛躍的増加に伴い、交通事故の発生も増加しており交通安全は安心して暮らせる社会において重要な位置付となっています。 1人1人に交通安全の普及をするためには、学校や職場などの生活場面において交通安全を認識し実行することが交通事故の減少に繋がります。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	総務企画部地域安全課	担当	危機管理	施策内容	交通安全活動の普及を目指して、交通安全協会や交通安全母の会など交通安全組織の育成、強化を図ります。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)
環境変化		リーダー	岡本英男		

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：交通安全関係組織数(支部)	平成16年度交通安全関係組織数 61支部	計画	65	68	68	68	68
		実績	61	62	62		
指標：交通安全活動年間実施回数(回)	平成16年度交通安全活動年間実施回数 35回	計画	45	50	50	55	55
		実績	48	46	40		
指標：		計画					
		実績					
指標：		計画					
		実績					
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	2,333,000	573,000	500,000		
	決算	2,431,995	572,450	500,000		

事務事業事後評価 20年度の検証

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか?(アウトカム)			
交通安全組織育成費	当初 573,000	各種交通安全教室の開催数 40回 / 50回	A	町交通安全関係組織と行政との協働により、年3回の交通安全運動を実施しました。その結果、前年と比較して交通死亡件数、負傷者数が減少しました。これは、地域に活動が浸透しているためであると考えられます。			
	決算 500,000			今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)	継続
	当初			今後の方向性(総合評価)			
	決算	/		今後の方向性(総合評価)			
	当初			今後の方向性(総合評価)			
	決算	/		今後の方向性(総合評価)			
	当初			今後の方向性(総合評価)			
	決算	/		今後の方向性(総合評価)			
	当初			今後の方向性(総合評価)			
	決算	/		今後の方向性(総合評価)			

施策事後評価 20年度の検証

	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
自己評価	年間40回の交通安全活動が地域に根付き、定着していることにより交通事故発生数の減少に寄与しています。(交通死亡事故:H19が3人でH20が2人であり1人減少。交通事故発生件数:H19が199件でH20が146件と53件減少。負傷者:H19が268人でH20が187人で81件の減少)	今後は、更に交通安全活動組織や行政、警察との連携を図り、交通事故を未然に防止する活動を強化し、情報の共有化を通じて、万一の場合に迅速で的確な行動ができるよう推進していきます。
総合評価	<p>■ 総合評価 ■</p> 施策指標は達成していないが、交通事故の発生件数は減少しており、各団体の取組みの成果は上がっていると評価する。 後期計画策定に向けて、これまでの取組みを検証した上で、各団体の活性化に繋がるような更なる組織の改編や情報の共有化など、持続的に成長できるモチベーションなど、新しい視点での組織の育成・強化を検討すること。また、併せて施策指標についても見直すこと。	